

## 協定留学近況報告書

記入日	2022年 11月 3日
留学先大学	南ユタ大学
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）：人類学部，（現地言語での名称）：Anthropology <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他：
留学期間	2022年8月－2023年4月
明治大学での所属	国際日本学部 国際日本学科
学年（出発時本学での学年）	学部 2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

出発前はとにかく全ての協定先大学を詳細に調べ、物価や地区、宗教や気候まで深くまで知っておくことに力を入れました。特に役に立ったのは、インターネット上で留学先大学のある地区の雰囲気、実際にその地に暮らす方の体験記などに触れておくことです。私はユタ州のシダーシティーに住んでいますが、日本から出発する前から特に宗教を重んじ、ほとんどの人がある特殊な主教に入っているということを知っておいたことが非常に大きなポイントになりました。実際に日本人の価値観で暮らすと奇妙だと感じることで溢れているため、事前に知っておくことの重要性を実感しています。

### II-1. 留学のための渡航前手続き（留学ビザ） ※詳細に記入して下さい

ビザの種類：J1	申請先：米国大使館
ビザ取得所要日数：約1か月 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用：5万円程

#### ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

面接の際に持参したのは、DS-160の確認ページのコピー、パスポート（古いものも含め）、証明写真1枚（背景画像の規定が厳しいため、要チェック）、面接予約確認書、留学先大学から支給されたDS-2019、これらは必須の書類ですが、私は補足書類として英文残高証明書を銀行から受け取り、戸籍謄本（残高証明書の信憑性が上がるため）を区役所に専門の業者を紹介してもらうことで手に入れ、予防接種証明書を区役所から、英文成績証明書を大学のポータルから手に入れ持参しました。しかし結果的にここまで沢山の補足書類を持参する必要はなかったように感じています。

#### 具体的な申し込み手順を教えてください。

1 ビザの種類を決定する 2 オンラインで DS-160 申請書を作成する 3 ビザ申請料を支払う（学生ビザ申請者は SEVIS 料金の支払いが必須） 4 面接予約をする

#### ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

留学にどれくらいの期間行くのか、そして現在日本の大学の学部何年生かという2つの質問のみでした。

#### ビザ取得に関して困った点・注意点

私は留学先大学から DS 2019（J1 ビザ用の重要書類）をもらっていたのにも関わらず、誤って F1 ビザを申請した後その状態で面接予約まで済ませてしまいました。対処方法としては、米国大使館に電話し、オペレーターの方に方法を伺いました。（ネット上で提出が求められる DS 160 を記入し直し、面接予約をし直す作業がもう一度必要になりますが、それに伴う費用な再び払う必要はありません）問い合わせの際の注意点としては、米国大使館は自国の祝日に合わせて休暇に入るため、日本で休日ではない日に休日中で電話が繋がらない場合があることです。

### II-2. 留学のための渡航前手続き（その他の事前準備について）

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など）

私の場合は留学先大学から SIM カードの配給があり、あとはそのカード従いアプリの案内に従いアプリケーションを通じて料金を払うことで、アメリカに到着してから必要な手続きは実際に SIM カードを挿入するだけでした。このことから、国内にいる段階で携帯電話についてはある程度目処を立てておくことを推奨します。また、SIM カード挿入後は以前の携帯会社の携帯使用を停止しておくことが必要になります。

### Ⅲ. 現地到着後のなぐれ

#### 1. 到着時の様子

利用航空会社	ユナイテッド航空				
航空券手配方法	ユナイテッド航空のインターネットサイトより ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	ラスベガス空港	現地到着時刻	午後1時		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 ( <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	4時間以上				

#### 空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

シダーシティーという山奥のキャンパスへの異動であった上、落雷が激しい悪天候の中での移動であったため、時差も15時間あるまま4時間を超えるドライブを乗り越える必要がありました。注意点としては、絶対に移動前の貴重品忘れが無いかチェックする事、またお手洗いを済ませておくことです。現地についたときは夜中なので、注意力も散漫になりパスポートやその他重要書類の管理に関しても気が抜けがちでした。非常に基本的なことですが、複数の学生がこの2点により混乱していたため、注意が必要です。

大学到着日	8月24日午後11時頃
-------	-------------

#### 2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。	
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮	<input checked="" type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他 ( )
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他 ( )
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他 ( 現地のアメリカ人生徒 )		
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の申込み手順	インターネット上のサイトからオンライン上で手続きし、業者の方とやり取りをして申し込みをしました。その後は契約書にネット上で署名し、複数の段階に分けて料金を支払いました。		

#### 住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

渡航前は、大学内の寮に申し込んでいましたが、特に今年は1学期間の留学をする人には学内寮の空きがなく、寮の費用は比較的高価になってしまう一方、学外のアパートを借りる他に手はありませんでした。最も苦労した点は、学内の寮に入ることができるか不透明な時期に既に学外の寮の契約を進める必要があり、500ドルやその他の解約金を複数回にわたって支払いするという手続きがあったため、その時点で学外の寮に決定する他ありませんでした。

3.留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	8月25日、26日
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料（金額： ）
内容と様子は？	International Student Ambassador の生徒の皆さんと留学生担当の教授と共に、南ユタ大学についてや米国の法的仕組み、また学生ビザや交流ビザを維持するために必要な要件や予防接種についてや学内ツアーなど、非常に多岐に渡る内容を扱ったオリエンテーションでした。
留学生用特別ガイドス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	8月31日から
IV. その他、渡航してから必要な手続きについて	
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？	
学校で対応して下さったので、個人では特に在留届の他の手続きを行いませんでした。	
2. その他現地でした手続きは？（健康診断、予防接種等）いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？	
特別な証明書のある方以外の留学生は、ツベルクリンテストを学内で受ける必要があり、9月13日に大規模なテストが行われました。2日後にすぐに結果が出て非常にスムーズに終了しました。しかし最初のオリエンテーションで提出したはずのビザのコピー、DS2019、予防接種証明書、保険加入証明書などの重要書類が提出されていないと複数回留学生限定のオフィスから連絡があり、全て紛失されたと容易に想像が出来ました。そのような状況であったため、私はツベルクリンテストを始めとする様々な場面で書類が欠陥しているとされ、その場で書類を毎回記入するの必要に見舞われました。	
3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
口座の開設はしていません。カードが2枚あれば十分に生活することが出来るため、開設している学生は少数です。	
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
していません。	



## V. 履修科目と授業について

### 1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に（3月30日頃）

オンラインで登録  志願書類に記入して登録  できなかった  その他（ ）

到着後に（ 月 日頃）

オンラインで登録  国際オフィス等の仲介  できなかった  その他（ ）

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

学校のポータルサイトに提出する必要があった書類の中に履修授業の希望を書くものがあり、それに沿って記入したものをスキャンし、提出しました。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

私が履修した授業は非常に人気のものばかりでしたが、早い時期に提出出来たこともありすべて希望通りに履修することが出来ました。



VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	起床	起床	起床	起床	起床		
9:00	授業開始	授業開始	授業開始	授業開始	授業開始		
10:00	授業	昼食	授業	昼食	授業	起床	起床
11:00	授業	授業	授業	授業	授業		
12:00	昼食	授業	昼食	授業	昼食	友人と会う	掃除
13:00	帰宅か図書館	帰宅か図書館	帰宅か図書館	帰宅か図書館	帰宅か図書館		
14:00	自習するか友人宅で過ごす		自習するか友人宅で過ごす		自習するか友人宅で過ごす		ルームメイトと過ごす
15:00		友人宅		友人宅			
16:00							
17:00							
18:00							
19:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
20:00	ルームメイトと過ごす	ルームメイトと過ごす	ルームメイトと過ごす	ルームメイトと過ごす	ルームメイトと過ごす	ルームメイトと過ごす	ルームメイトと過ごす
21:00							
22:00							
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝





## Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

南ユタ大学の授業の特徴としては、大人数の授業と少人数の授業の人数の差が非常に大きいということです。中には大人数授業に向いていない内容の授業が大人数で行われていることもあるため、授業の履修を決める際にはクラスの規模の考慮に入れることがポイントと言えます。そして、宿舎に関してはほとんどの学生がキャンパス外に住んでいて普段は夜中まで友人やルームメイトと共に過ごすことが多いです。私は日常的に課題に追われて参加できないことも多いですが、ほとんどの現地学生は課題を夜にやることはせずに常に交流しているイメージです。特に男女の境目が少なく、建物も同じ場合が多いため、時間帯を気にせずに交流が行われています。騒音などの問題も度々ありましたが、話し合いを通じて解決を図る考えの方が多いと感じています。しかし同じアメリカ出身でも考え方や宗教が異なる場合喧嘩になることが多く、大人目から離れていることもあり日本の常識では起こり得ないことも多発するため、最初のうちは留学生は確実に困惑することが多いと言えます。その他の特徴としては、学内のイベントが非常に多いということです。大学主催のイベントの中には夜遅くに行われるものも多ありますが、シダーシティは治安が非常に良く、過剰に安全に気を付ける必要もないため自由な雰囲気です。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

南ユタ大学への留学を考えている方へ最初のアドバイスとしましては、ユタ州への留学は俗にいうアメリカ留学とはかけ離れているということです。南ユタ大学のあるシダーシティは非常に小さな町であり、山に囲まれている上有名な観光地は近くには全くと言って良いほど無く、国立公園を始めとする自然がほとんどを占めます。特にアメリカ留学のイメージとして、カルフォルニアやニューヨークなどの都会をイメージする方が非常に多い気がしています。特に同時期にアメリカに留学に行っている学生の中には日常的に観光地に行っている方も多く、同じ国といえどもその差は本当に大きいと感じています。これらを踏まえると、アメリカ留学に上記のイメージを持っている方には南ユタ大学への留学はあまりおすすめしません。

しかしこの大学への留学を勧める理由も沢山あります。最初に、寮の値段や学費（学費負担の方へ）のことを考えると他大学より大幅に手頃だといえます。また学校と家との往復を基軸とした毎日であるため、一度できた友人とは非常に強固な友情を育むことができる上、勉学に真面目に取り組む生徒と出会いやすく、モチベーションを保つことが容易です。そして最大の特徴としてアジア人が圧倒的少数派であることが挙げられます。特にシダーシティは人口のほとんどが白人で構成されていることもあり、ほとんどの授業でアジア人は私1人の場合が多いです。そのため自動的に現地の文化や価値観に触れることが出来ます。私は9人のアメリカ人と暮らしていることもあり、日常的に現地の特徴的な風習や文化に触れることも多く、最初の方は特に宗教と恋愛観に困惑することも多かったですが、留学の醍醐味として申し分ない文化交流が出来ていると感じています。

最後に、私が実際に留学生活を送っていて一番苦労しているのは英語ネイティブと非ネイティブの生徒との関わりの比率です。南ユタ大学には最初に留学生限定のオリエンテーションがあったこともあり、留学生と特に仲良くなりやすい傾向にあり、私はエクアドルの親友ができ多くの時間を過ごしています。他国(スペイン語圏)からの留学生の話では、特に同じ国の学生と仲良くなりやすく、結局その国の学生と固まってしまうということも良く聞きます。数か月をこの国で過ごして思うことは、これは決して悪い事ではないということです。実際に私は最初の1か月半程は多くの時間をルームメイトと過ごしていましたが、特に仲良くなった友人がアジア人であった場合、不思議な程仲良くなるスピードが速いのも事実です。アジア人と仲良くなると、既にアジア人のコミュニティーが出来上がっていることが多く、そうするとアジア人の中でも孤立感を感じてしまうことがあります。こういったことを防ぐ最大の対処法としては、同じ文化圏、異なる文化圏と友人を規定しないことです。私は最近アメリカ人の友人と過ごす時間と同じ程度他文化に触れることも重要視することで孤立感を減らすようにしています。どこにいても孤立感を感じるという状態が最も好ましくないため、日本語を話さないように努力したり、英語縛りの毎日を送ったりすることももちろん良いとは思いますが、私は実体験から自分のストレスが溜まらない方法での暮らしを推奨します。